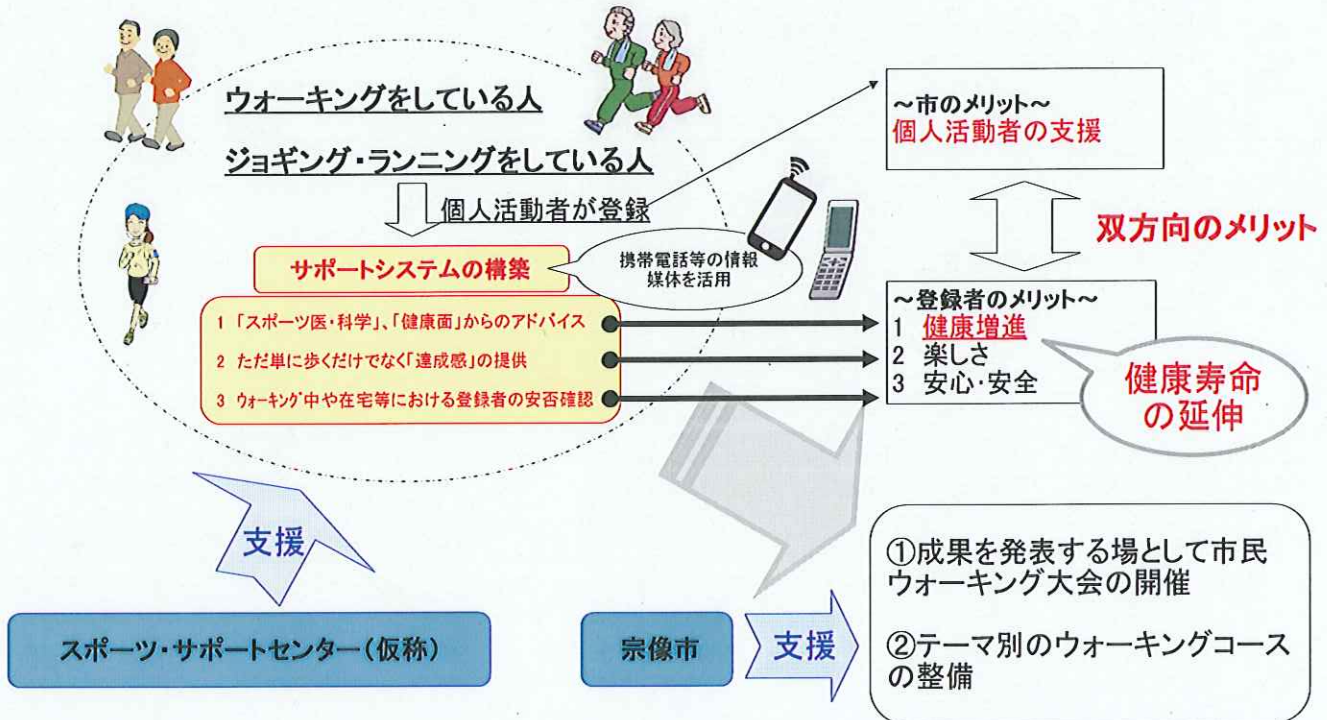


1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進

誰もが気軽に取り組むことができるウォーキングやジョギング、体操等を市民が習慣化できる仕組みや機会を提供し、「健康で元気な宗像市民」を増やす。

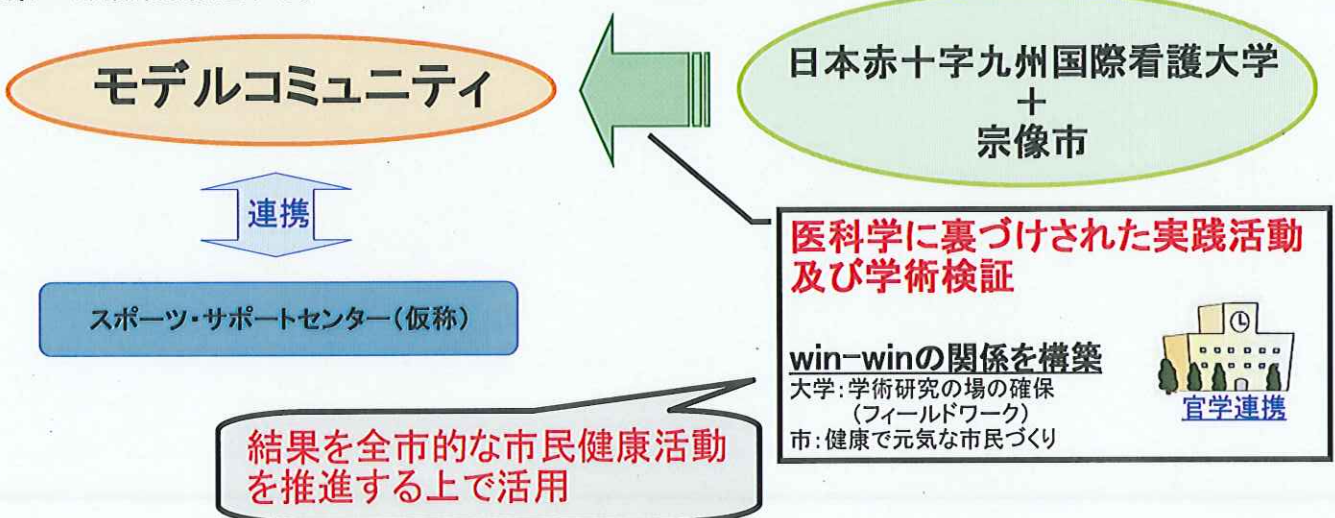
市民エンジョイ・ウォーキング事業

誰もが気軽に入りたくなる携帯電話等の情報端末を活用した「双方向運動サポートシステム」を構築・運用する。



モデルコミュニティ健康スポーツdeハッピー事業

モデルコミュニティを選定し、地域住民が毎日楽しく、笑顔でウォーキングや体操等のスポーツ・運動を実践する健康づくり活動を推進する。



市全域を対象とした総合型スポーツクラブの設立・運営

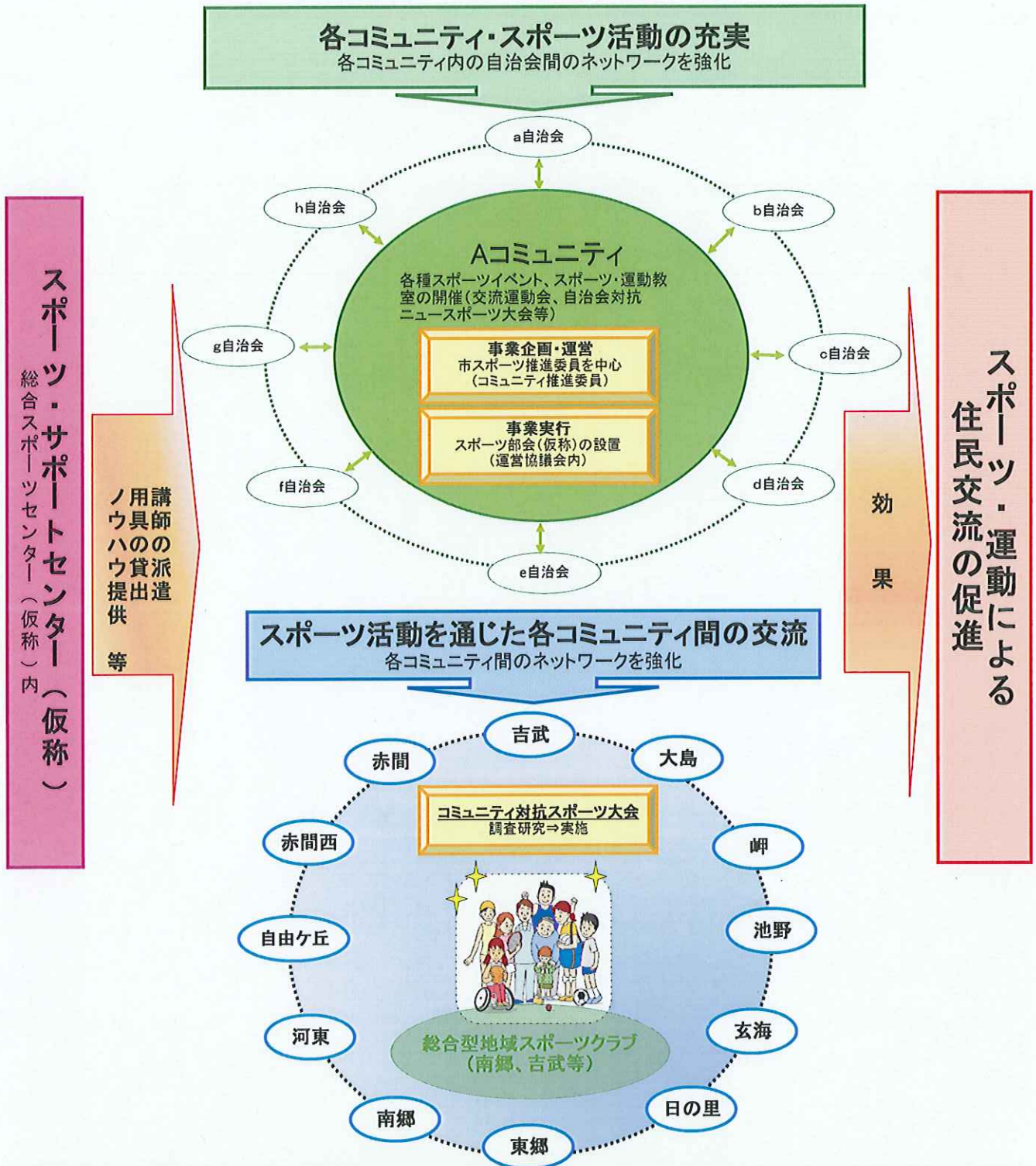
市体育協会が主体となり、市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、「日頃、スポーツ・運動をしていない人」、「他の種目をやりたい人」に対する各種スポーツ教室を開催する。



誰でも気軽に参加できるスポーツクラブ

2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化

コミュニティ内の住民交流をスポーツ・運動活動を通して促進するためのサポート体制を整備する。



活動内容を充実させるための取り組み

【実施メニュー】

- ①地域特性に合った住民交流スポーツプログラム企画・運営
(コミュニティごとに交流運動会や自治会対抗ニュースポーツ大会等の開催)
- ②市主催のコミュニティ対抗スポーツ大会の開催

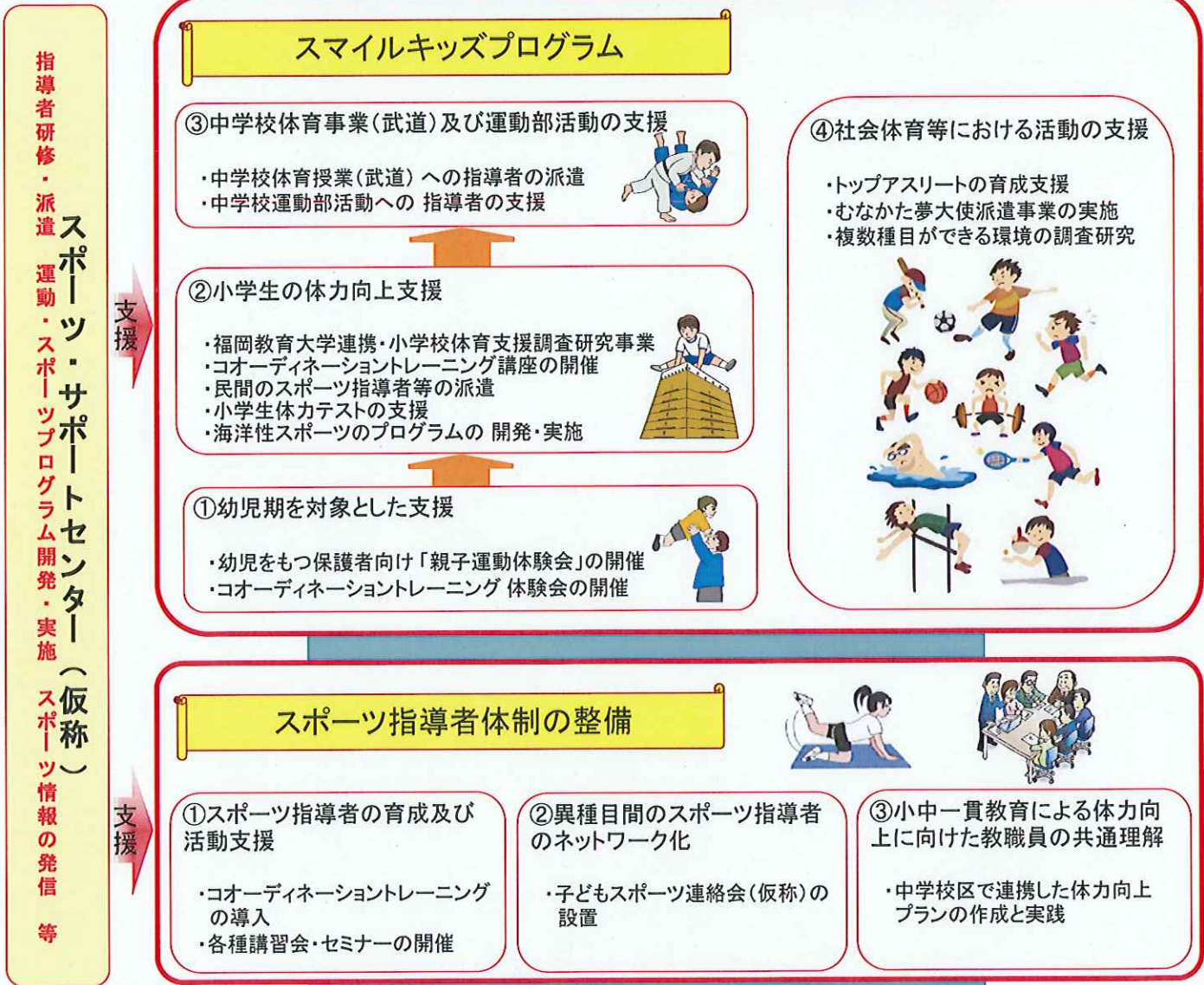
【仕組みづくり】

- ③コミュニティ運営協議会にスポーツ部会(仮称)が設置されるよう働きかけるなど、必要に応じて、より活動しやすい組織体制を構築
- ④スポーツ、運動活動を促進するためのサポート体制の整備(スポーツ・サポートセンター(仮称)からの講師派遣)
- ⑤コミュニティを単位とする総合型地域スポーツクラブ運営支援(南郷・吉武)の継続、立ち上げ支援
- ⑥住民交流につながる運動・スポーツ活動費補助制度の調査・研究

3 子どものスポーツ機会の充実

将来にわたってスポーツ・運動をすることが好きになる子どもを増やしていく取組、体力向上のサポート体制の整備、指導者養成、学童スポーツ等の複数種目実施導入等を推進する。

- ✦ スポーツ・運動を親しむ子どもを育てる
- ✦ スポーツ・運動が好きになる子どもを育てる
- ✦ スポーツ・運動を楽しむことができる子どもを育てる



子どものスポーツ・運動を定着させるために

小学校体育授業及び中学校体育授業(武道)の充実

- ・体育授業等を通じた体力向上
- ・体育授業(武道)の指導者の充実

異種目間のスポーツ指導者の共通理解(複数種目実施の環境)

- ・学童スポーツクラブ等の運営・存続
- ・運動能力向上

スポーツ指導者のスキルアップ

- ・発達年齢に応じた適切な指導
- ・スポーツ障害を発生させない指導

4 若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、障害の有無、興味・目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を図り、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。

【目標値】

成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 65%程度(3人に2人)

* 週1回以上運動・スポーツをしている人の割合 55.6%(実績値)

(割合(実績値)は平成25年度実施「運動・スポーツ活動に関するアンケート」結果による)

指導者研修・派遣
スポーツ・サポートセンター(仮称)
スポーツ情報発信等

ライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施

それぞれの体力や年齢、技術、障害の有無、興味・目的に応じたスポーツ・運動プログラムを開発・実施します。

- ・親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム
- ・20代・30代が参加できるスポーツ・運動プログラム
- ・高齢者を対象にしたグラウンド・ゴルフ大会の拡大
- ・全世代を対象としたウォーキング大会等の開催



コミュニティを単位とする総合型地域スポーツクラブの活動の支援

地域に開かれた総合型地域スポーツクラブに対して、運営面での指導・助言をはじめ、様々な支援を実施します。

- ・各種スポーツ・運動教室に必要なに応じて、講師の派遣
- ・新たに立ち上げるクラブへの設立支援



障がい者のスポーツ・運動活動の支援

関係機関・団体が連携し、障がい者のスポーツ・運動活動を推進するための調査研究を行います。その過程や結果を受け、障がい者のスポーツ機会を創出します。

- ・スポット的な大会開催にとどまらず、体系的な障がい者のスポーツ・運動活動を支援する仕組みづくり



「いつでも」「どこでも」「いつまでも」安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて

スポーツ・運動の現状

平成25年度実施「運動・スポーツ活動に関するアンケート」結果による

スポーツ・運動の実施頻度とスポーツ・運動の希望頻度

	実施頻度	希望頻度
週1回以上	55.6%	76.9%
	* 希望頻度が21.3%高い	

スポーツ・運動をしていない、できない理由

- 仕事が多忙
- 育児・家事が多忙
- 運動・スポーツが好きでない
- 健康上の理由 etc

スポーツ・運動を行うために必要な条件

- 一緒に活動する仲間
- 気軽に参加できるスポーツ教室
- 楽しめる運動や種目の増加
- 様々な運動・スポーツの情報
- 身近な指導者 etc